リンク 3：ヘルニア治療基準

ヘルニア添付文書より引用~~~~~

適応

- ・保存療法で十分な効果が得られない後縦靭帯下脱出型の腰椎椎間板ヘルニア

禁忌

- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・急性の両下肢麻痺や膀胱直腸障害を呈する馬尾障害のある患者
- ・骨軟骨異形成症による症状又は脊柱の弯曲がある患者

~~~~~

上記添付文書に従って治療を行っております。ヘルニアのタイプに関しては画像所見の判断に苦慮する場合がありますので、実際には近隣の病院から紹介していただき当院にて画像診断、身体診察を行ってから治療適応の判断をしております。